弁護士の皆様へ

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

クライアントが報酬を暗号資産で支払いたいと言っています。受け取ってよいでしょうか。 両国とも可能ですが、見落としやすいマネーロンダリング防止上の帰結があります。法律サービスの対価として暗号資産を受け取るスイスの弁護士は、その限りでは金融仲介業者に当たりません。しかし、弁護士が金融仲介業者として行動する場合のマネーロンダリング防止法（AMLA）上の弁護士自身の義務に加え、デューデリジェンスを助言業務にまで拡大する2024〜2026年の改正を考えると、支払元のウォレットをスクリーニングし、資金の出所を文書化しておくのが賢明です。シンガポールでは、Legal Profession (Prevention of Money Laundering and Financing of Terrorism) Rules 2015により、クライアントに対する顧客デューデリジェンス（CDD）と、通常と異なる支払方法への注意が求められます。両国とも、報酬は受領時の価値による所得となります。[1]

ドイツのクライアントがスイスで暗号資産を保有しています。リスクとなる点は何でしょうか。 ドイツの税務上の居住者であれば、全世界所得にドイツの税が課されます。これには所得税法（EStG）第23条の私的譲渡ルールが含まれ、保有期間1年未満の暗号資産の譲渡益は課税対象、それより長く保有した暗号資産の譲渡益は非課税となります。ドイツのマネー

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ロンダリング防止規則および報告規則も適用され、ストラクチャーについての透明性登録簿もこれに含まれます。スイスは、スイスの金融機関の口座についてCRSに基づきドイツに報告しており、暗号資産については早くとも2028年からCARFに基づき報告することになります（第C部第VI章および第G部第VII章参照）。ドイツのクライアントにとってのリスクは、未申告の短期譲渡益と未申告のステーキング所得です。これについては、データが届く前に、租税通則法（AO）第371条に基づくドイツの罰則免除型の自主申告で対処することができます。[2]

準拠法条項のない、スイスの当事者とシンガポールの当事者との間のトークンをめぐる紛争には、どの法律が適用されますか。 契約上の請求については、スイスの裁判所は契約と最も密接な関係を有する国の法律、通常は特徴的給付を行う当事者の本拠地の法律を適用します（国際私法（IPRG/PILA）第117条）。シンガポールの裁判所も、同様の原則に基づき契約の準拠法（proper law）を適用します。物権的請求については、両国の裁判所ともトークンの所在地の問題に苦慮しており、鍵の保有者または取引所口座の所在地の法律を適用する傾向にあります。教訓は、準拠法条項を盛り込むことです。デフォルト・ルールは不確実性を生み、それは資力のある当事者に有利に働くからです。[3]

スイスの判決をシンガポールで執行できますか。 コモンロー上、判決を債務として訴求する方法によってのみ可能です。スイスは、Reciprocal Enforcement of Foreign Judgments Act 1959に基づく官報告示国ではないからです。シンガポールの裁判所は、スイスの裁判所がコモンローの原則上管轄を有しており、詐欺、公序または自然的正義の抗弁が当てはまらない場合には、スイスの確定した金銭判決を執行します。金銭以外の判決（トークンの引渡しを命じる命令）はコモンロー上執行できません。そのため、特定の救済を求める場合には、仲裁またはシンガポールでの手続が好まれます。[4]

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

シンガポールの判決をスイスで執行できますか。 できます。国際私法第25条〜第32条に基づき、シンガポールの裁判所がスイス法の意味での管轄を有しており（国際私法第26条）、判決が確定しており、第27条に基づく拒絶事由が当てはまらない場合に可能です。スイスは外国の金銭以外の判決も承認するため、トークンの引渡しを命じる命令を、スイスのカストディアンやスイス居住の被告に対して執行することができます。手続は民事訴訟法（ZPO/CPC）第251条に基づく略式手続であり、金銭判決については債務取立・破産法（DEBA）の執行措置によります。[5]

クライアントからシードフレーズのエスクローを頼まれました。引き受けるべきでしょうか。 引き受けるのは、書面によるエスクロー契約がある場合に限るべきです。その契約では、解放条件を定め、弁護士が鍵を使用する権限を一切排除し、弁護士の責任と保険について取り扱い、セキュリティ措置（封印、分割、カストディアンでの保管）を定めておく必要があります。多くの専門職賠償責任保険はこのリスクを免責とし、または上限を設けているため、引き受ける前に確認すべきです。鍵を保有する弁護士は事実上の処分権限を有しており、その取決めが第三者のための業としてのカストディに当たる場合には、AMLA上の金融仲介業者となることがあります。より良い方法は、ライセンスを受けたカストディアンを利用し、マルチシグの仕組みにおいて弁護士を複数の鍵保有者の一人とすることです。[6]

実務上の注意

これらの質問はいずれも、ここに示した形で私に寄せられたものです。その多くは、すでに他の誰かから自信に満ちた回答を受け取っていたクライアントからの質問でした。誤りであると判明した自信に満ちた回答には、共通する特徴が1つありました。一方の法域の法律を扱い、もう一方の法域の法律を無視していたことです。シンガポールの問題に対するスイス法上の回答、あるいはその逆は、デジタルアセット実務に特有の誤りです。クライアントは移動し、トークンも移動し、相手方はプロトコルが置いた

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

場所にいるからです。受け取るすべての回答について、どの法律に基づく回答なのか、そしてもう一方の法律はどう定めているのかを問うようにしてください。

注

1. マネーロンダリング防止法第2条第3項、Legal Profession (Prevention of Money Laundering and Financing of Terrorism) Rules 2015。第F部第VI章および第L部第IV章参照。 ↩
2. Einkommensteuergesetz第23条第1項第2号、Abgabenordnung第371条。ドイツとのクロスボーダー案件については第G部第VIII章参照。 ↩
3. 国際私法第117条、所在地の問題については第D部第IX章、第J部第VIII章。 ↩
4. Reciprocal Enforcement of Foreign Judgments Act 1959。コモンロー上の執行ルートについては第J部第VIII章で説明しています。 ↩
5. 国際私法第25条〜第27条、民事訴訟法第251条および第335条以下。第D部第IX章および第H部第VIII章参照。 ↩
6. マネーロンダリング防止法第2条第3項b号（カストディ）。第F部第II章および第P部第VIII章参照。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.